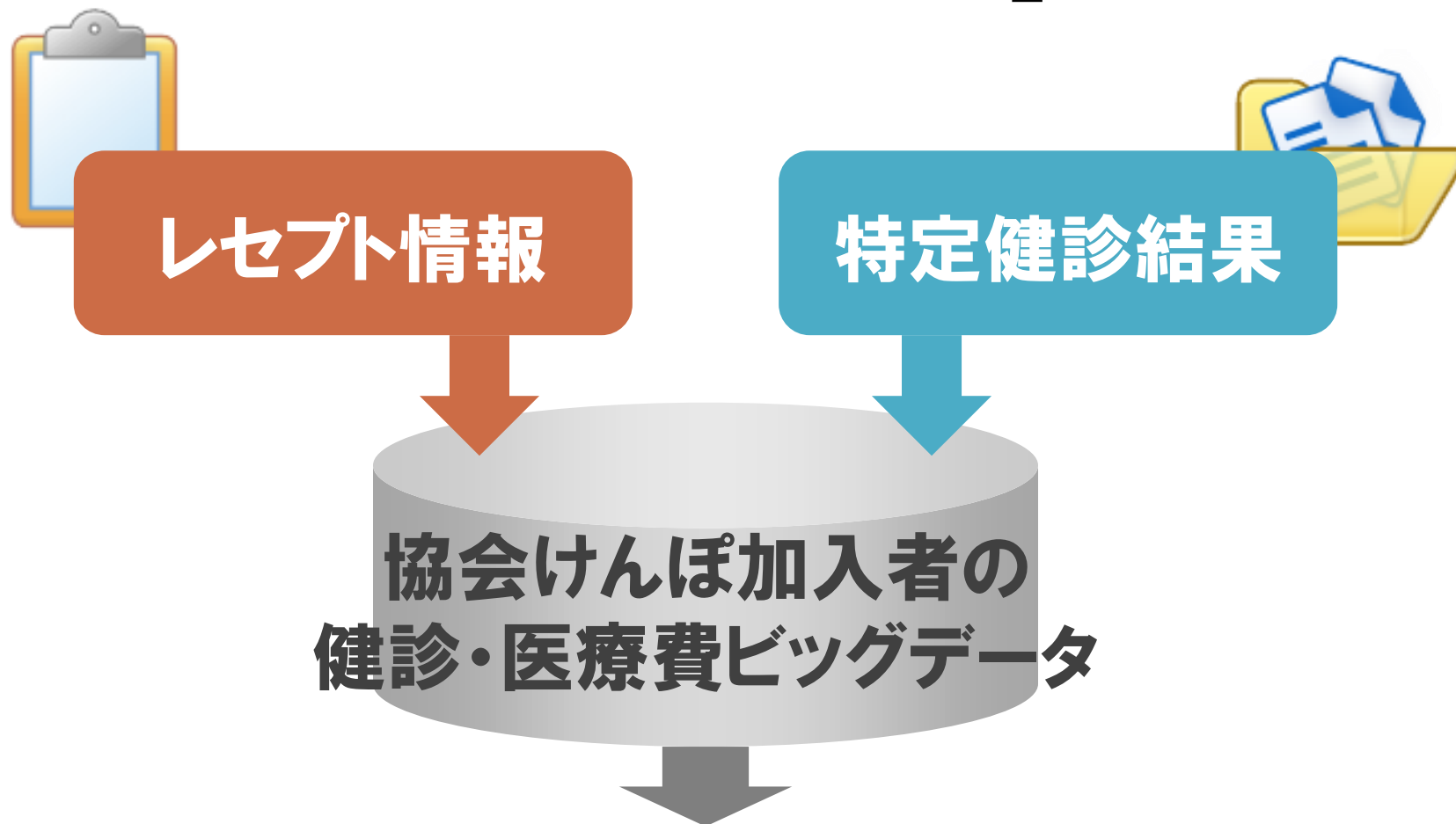


データヘルス計画について

第1期実施報告及び第2期計画案

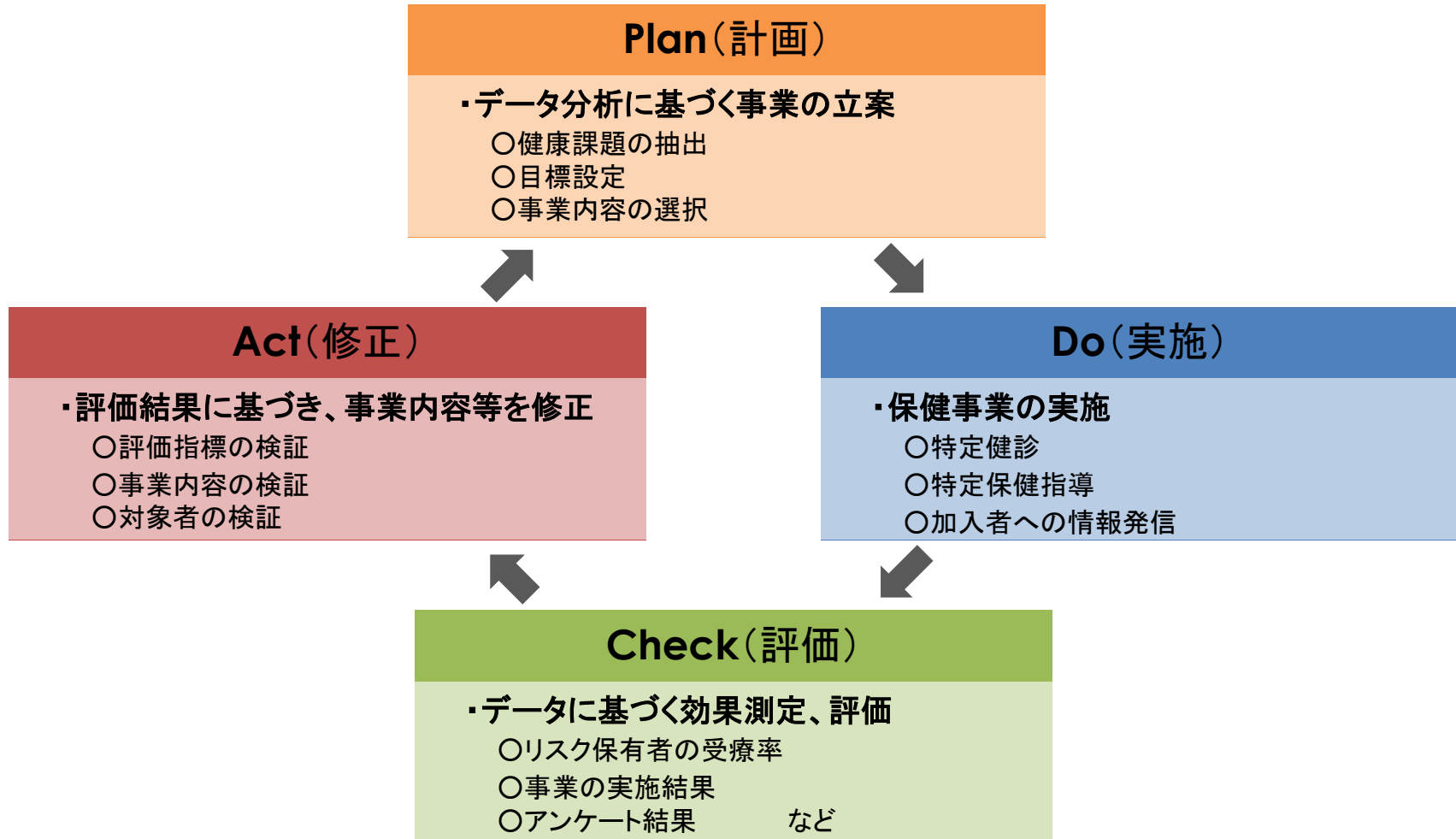
「データヘルス計画」とは



加入者の健康課題を分析し、効果的・効率的な保健事業(データヘルス)を実施

厚生労働省の「データヘルス計画作成の手引き」に基づき、平成26年度に作成し、第1期は平成27年度から平成29年度に行った

データヘルス計画の事業運営



秋田支部 第1期データヘルス計画

「こしゃると 健康長寿 あきた」

男性の脳心血管イベント(脳卒中、心疾患など)予防のために、高血圧のリスクを改善する

～平成27年度から平成29年度の、男性の血圧リスク保有率の上昇を**3%未満**に抑制する～

平成24年度生活習慣病予防健診結果から…

- ・男性の代謝リスク(糖尿病リスク)保有率 全国ワースト1位
- ・男性の血圧リスク保有率 全国ワースト3位
- ・血圧リスク保有者数(28,646人)は、代謝リスク保有者数(10,755人)の2倍以上の人数(男女計)
- ・**運輸業**の各種指標が他業種に比べ悪い
- ・35歳～39歳の男性で、血圧リスク保有者のうち、**医療機関の未受診者数が74%**を占めている
- ・**喫煙者の割合**が高い 男性全国ワースト6位 女性全国ワースト24位

平成24年度医療費データから…

- ・一人あたり入院外医療費(調剤含む) 全国ワースト2位
- ・**高血圧にかかる一人あたり入院外医療費 全国ワースト4位**

平成24年度国民健康・栄養調査(厚労省調べ)から…

- ・**塩分摂取量が多い** 男性全国ワースト4位 女性全国ワースト6位
- ・運動(歩数)不足 男性全国ワースト4位 女性全国ワースト1位

秋田県は脳卒中・心疾患の死亡率が高く、高血圧は発症リスクの一つである

男性の血圧リスク保有者、若年層の未受診者、運輸業界に対する対策が必要

目標1 血圧リスク保有者で医療機関を受診していない方や、特定保健指導対象外の加入者が、高血圧改善・予防に努めるようになる

- 特定保健指導の対象ではないものの、血圧リスクがある方に対して、保健指導、受診勧奨などを実施し、生活改善に向けた意識付けをする
- 35歳～39歳の血圧リスク保有者への保健指導、受診勧奨を実施し、特定保健指導対象者への移行を食い止める

目標2 血圧リスクの高い運輸業界が対策を講じることで、従業員も高血圧改善・予防に取り組むようになる

- 運輸業界団体組織に、加入団体の業態別リスク保有割合等の資料を示し、健康経営や今後の取り組みについて提案する
- 事業主に対して事業所健康診断書(健康カルテ)を示すなどして、職場全体の健康度を認識していただき、従業員の生活習慣改善と健康経営について提案する
- 35歳から、個別あるいは集団による保健指導を実施し、幅広い層に生活習慣改善について啓発する

目標3 血圧リスク改善・予防に向け、県民の理解を深める

- 県・自治体・医師会・歯科医師会・薬剤師会などと連携したイベントでの健康ブース出展や、講演会の開催を通じて、血圧リスクの危険性とリスクの改善について啓発する
- 薬局を拠点として、高血圧改善・予防の知識を啓発する
- 啓発グッズ(減塩バッジ、ステッカー、スプレー醤油差し)の活用

第1期計画の実施報告

目標1

血圧リスク保有者で医療機関を受診していない方や、特定保健指導対象外の加入者が、
高血圧改善・予防に努めるようになる

具体策

血圧リスク保有者で医療機関を受診していない方に対し、文書にて受診勧奨する

35～39歳のリスク保有者に対し、文書にて受診勧奨する

非特定保健指導対象者のリスク保有者に対して、保健指導を実施する

35～39歳のリスク保有者に対し、保健指導を実施する

取組内容

一次勧奨:本部、二次勧奨:支部
(支部実施分のみ掲載)
27年度:257件、28年度:577件、29年度:347件
※29年10月分までの集計

一次勧奨:本部、二次勧奨:支部
(支部実施分のみ掲載、上記件数に含まれる)
27年度:一件、28年度:20件、29年度:36件
※28年4月分(発送11月)から開始、29年10月分までの集計

事業所訪問時に健康相談を実施

事業所へ集団学習を実施
27年度:42件、28年度:23件、29年度:13件
※30年1月末までの集計

成果

血圧リスク保有者の受療動向*1

26年度	27年度	28年度
60.3%	61.1%	61.4%

35～39歳リスク保有者の受療動向*2

26年度	27年度	28年度
26.9%	27.6%	29.8%

*1)生活習慣病予防健診、事業者健診、特定健診受診者のうち以下の項目いずれも満たす者を未治療者とする。

- ① 血圧リスクあり
- ② 翌年度9月末までに「高血圧症」「糖尿病」「高脂血症」「肥満症」のレセプトがない

*2)生活習慣病予防健診、事業者健診、特定健診受診者のうち以下の項目いずれも満たす者を未治療者とする。

- ① 血圧リスクあり or 代謝リスクあり
- ② 翌年度9月末までに「高血圧症」「糖尿病」「高脂血症」「肥満症」のレセプトがない

目標2 血圧リスクの高い運輸業界が対策を講じることで、従業員も高血圧改善・予防に取り組むようになる

具体策

運輸業団体へ健康経営の必要性を説明し、具体的な取組みを提案する

個別・集団保健指導を実施し、生活習慣改善を啓発する

取組内容

28年12月1日：
バス協会、トラック協会に加え、
ハイヤー協会と協定締結



30年3月1日：
秋田陸運支局、バス協会、トラック協会、ハイヤー協会
と5者による協定締結

東北初！

健康経営宣言事業所
バス：3社、トラック：28社、ハイヤー：4社

運輸業団体や事業所に対して、減塩や高血圧に関するアンケートを実施

運輸業団体や事業所に対して、禁煙ポスターやスプレー式醤油さし等啓発グッズを配布、塩分・糖分食品サンプルを貸与

運輸業団体専用ニュースレターの発行(年4回)

事業所訪問時に健康相談を実施
事業所へ集団学習を実施

成果

運輸業の
血圧リスク保有率

26年度：
59.7%(業種別2位)

27年度
63.2%(業種別2位)

28年度：
62.4%(業種別2位)

目標3 血圧リスク改善・予防に向け、県民の理解を深める

具体策

取組内容

事業主・事業所へ啓発活動を行う

事業所での集団学習の実施(P.5再掲)
27年度:42件、28年度:23件、29年度:13件

小学校でタバコに関する授業を実施

禁煙、高血圧予防のグッズ等を活用した啓発活動を実施

- ・ 禁煙ミニのぼり、禁煙ステッカー、禁煙外来マップの配布
- ・ スプレー式醤油さしの配布
- ・ 塩分・糖分食品サンプルの貸与



広報誌への記事掲載、フリーペーパー等への広告掲載

ラジオ(FM秋田)、テレビ(ABSエビス堂☆金)での啓発

健康保険委員の増加

健康経営宣言と同時勧奨、ダイレクトメール等による勧奨
27年度:20名、28年度:50名、29年度:126名

具体策

自治体、医師会・歯科医師会・薬剤師会との協働による県民への啓発活動を行う

取組内容

秋田県、秋田市、大館市、美郷町に加えて、以下の自治体と協定締結
28年4月13日 横手市、28年8月3日 潟上市
30年2月20日 鹿角市

情報交換のための意見交換会

特定健診の市町との同時実施

分析データの提供

イベントの協同開催

- ・世界禁煙デーフォーラム ・受動喫煙防止フォーラム
- ・Kids Pharmacy ・アフラックがんイベント
- ・ねんりんピック ・ビジネスマン健康達人講座
- ・めざせ健康寿命日本一！応援フェア、等
(血管年齢測定、スモーカーライザー、骨健康度測定、等)



具体策

取組内容

健康経営を推進する

関係団体との協定締結

28年11月1日 県社会保険労務士会
29年4月12日 健康保険組合連合会秋田連合会
29年9月21日 アクサ生命保険株式会社
29年10月23日 株式会社秋田銀行

▶ 商工会議所等と連携し、健康経営セミナー、研修会を実施

▶ 健康経営宣言事業所へ健康経営インセンティブを提供
(医療費用等への生活応援ローンの金利優遇)

▶ 健康経営宣言事業所へアンケートを送付
3ヶ月、6ヶ月、1年 (回収率約70%)
アンケート内容に応じて、フォローアップを実施

▶ 事業所健康度診断書(健康カルテ)を送付

▶ 健康経営宣言事業所(28年6月開始)
28年度:125事業所、29年度:446事業所

▶ 健康経営優良法人 中小規模法人部門 認定事業所
(28年度開始)
28年度:5事業所、29年度:11事業所

第1期計画の実施結果

「こしやると 健康長寿 あきた」

男性の脳心血管イベント(脳卒中、心疾患など)予防のために、高血圧のリスクを改善する

～平成27年度から平成29年度の、男性の血圧リスク保有率の上昇を**3%未満**に抑制する～

2年連続して健診を受診した、秋田支部男性の高血圧リスク保有率

24年度	52.04%	}	2.5%
25年度	54.49%		

27年度	56.55%	}	1.5%
28年度	58.04%		

【参考】第1期計画の目標設定時:

24年度から26年度の男性の血圧リスク保有率の上昇4.9%

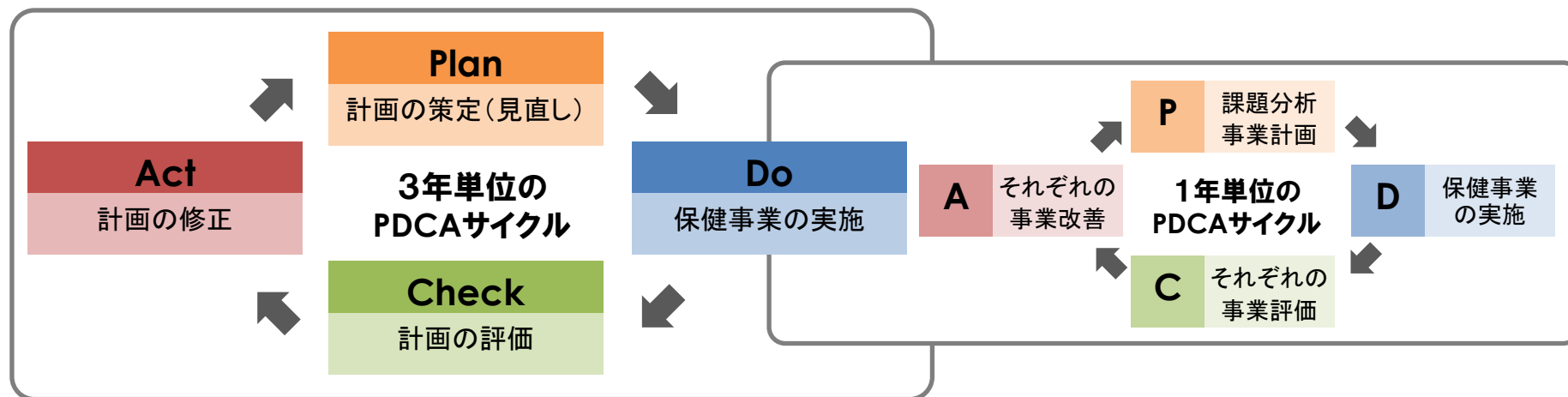
※ 生活習慣病予防健診、事業者健診、特定健康診査データをもとに算出

※ 2年連続してリスク判定があるもの

※ 29年度の健診受診者データが確定次第、第1期3ヶ年を評価する予定

第2期計画策定のポイント

変更1 3ヶ年計画 ⇒ 6ヶ年計画



変更2 課題に応じた目標設定と評価結果の見える化

第1期の反省点

- 評価指標が数値で設定されていなかった
- 事業実施が目的となり、課題解決につながったかどうかわかりづかった

第2期の改善点 (例)

健康課題: 糖尿病等の重症化に伴う医療費が高い
目標: 重症疾患の発症予防を〇%改善

New

ストラクチャー(体制)	: 主治医との連携体制の構築
プロセス(過程)	: 対象者の抽出、参加促進
アウトプット(事業実施量)	: 受診勧奨の実施率
アウトカム(成果)	: 医療機関への受診率

第2期計画の概要

①健康課題の抽出

不適切な生活習慣

食塩摂取量が多い
男性5位、女性6位

運動習慣(歩数)
が少ない
男性46位、女性25位

喫煙者の割合
が高い
男性48.6%、女性16.9%

生活習慣病予備軍

血圧・脂質・代謝リスクが高い

腹囲: 男性48.8%(全国2位) 女性14.8%(同5位)
血圧: 男性55.9%(全国1位) 女性35.2%(同2位)
脂質: 男性40.1%(全国1位) 女性18.5%(同1位)
代謝: 男性23.4%(全国1位) 女性9.1%(同3位)

業態別／運輸業が高い

腹囲: 48.9%(1位)
血圧: 62.4%(2位)
代謝: 23.7%(4位)
メタボ: 27.4%(1位)

生活習慣病

血圧・脂質・血糖の服薬が多い

血圧: 男性23.7(+4.6) 女性15.4(+2.9)
血糖: 男性6.6%(+0.5) 女性2.8%(+0.3)
脂質: 男性11.9%(+2.7) 女性13.5%(+4.3)

一人当たり医療費多い

入院:
男性1.19倍(全国6位) 女性1.14倍(同7位)
入院外:
男性1.10倍(全国1位) 女性1.10倍(同2位)

重症化・死亡

脳心血管疾患の割合が高い

脳血管: 男性1.8%(+0.2) 女性0.8%(±0)
心血管: 男性4.0%(+0.6) 女性1.9%(+0.3)
腎不全、人工透析:
男性0.4%(-0.1) 女性0.3%(-0.1)

健康寿命が短い

男性70.71歳(-0.48歳)
女性75.43歳(+1.22歳)

②上位目標の設定 (10年以上経過後の目標)

脳心血管疾患による入院・外来受診率(年齢調整後)を全国平均まで減少させる

③中位目標の設定 (6年後の目標)

血圧リスク保有率(年齢調整後)の全国と秋田支部との差を50%減にする

④下位目標の設定

特定健診受診率
の向上

特定保健指導実施率
の向上

脳心血管イベント
の予防

関係団体と連携した
コラボヘルスの推進

県民ヘルスリテラシー
の向上

第2期計画1年目(30年度)の主な事業

事業1 特定健診受診率の向上

- 健診実施機関の拡大やすでに契約している健診実施機関の受診者数の増大を図る
- 社会保険労務士・商工会議所等協力先を開拓し、事業者健診データ提供の依頼を行う

事業2 特定保健指導実施率の向上

- 制度改正により「健診当日に初回面談の分割実施」が実施しやすくなるため、特定保健指導の契約をするように健診実施機関へ強力に働きかけ、保健指導終了者の増加を図る

事業3 脳心血管イベントの予防

- 二次勧奨(重症域)実施後の医療機関受診率を上げるため、広報物の見直しやより効果的な集団学習を実施する

事業4 関係団体と連携したコラボヘルスの推進

- 第1期で構築した運輸業界との連携を更に深め、運輸業の健康管理の支援活動に取り組む
- 関係団体との連携を更に深め、健康経営の推進及びフォローアップに取り組む

事業5 県民ヘルスリテラシーの向上

- 県で掲げる「健康秋田いきいきアクションプラン」に沿って、たばこ・減塩・運動の目標達成に向けた各種施策に取り組む